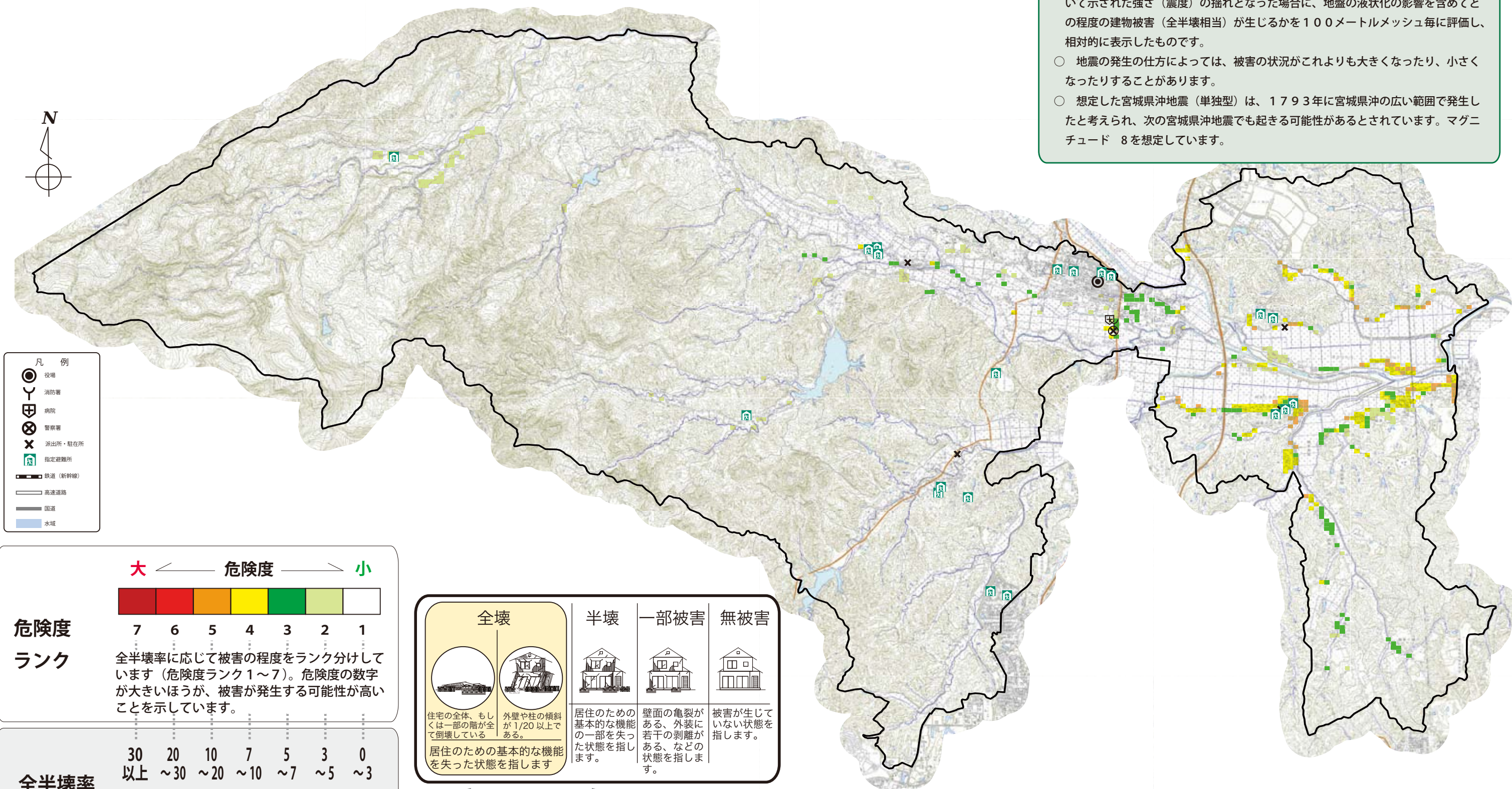




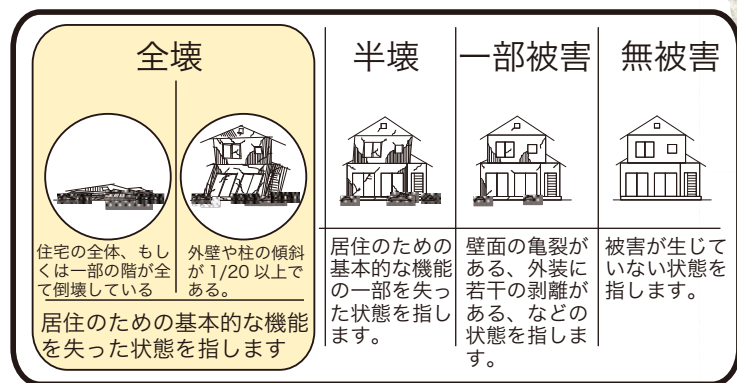
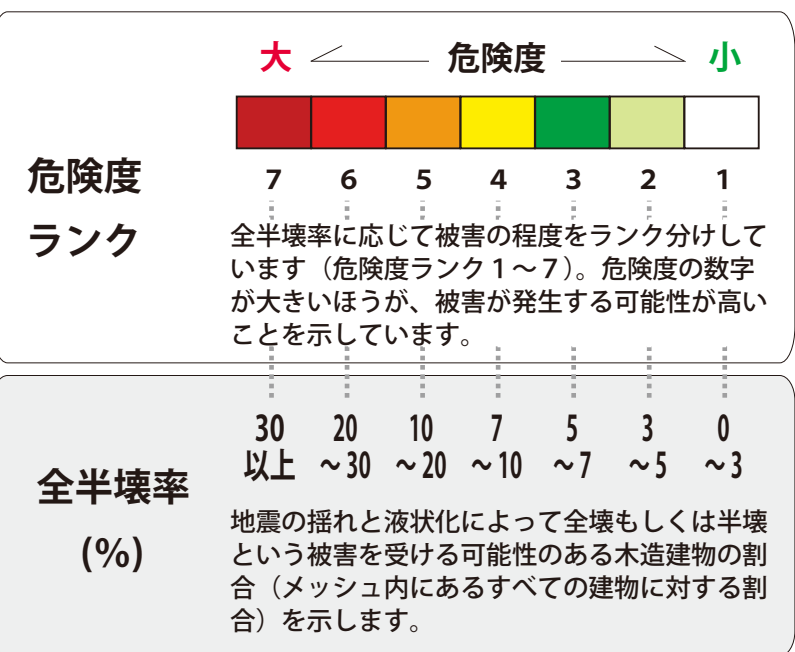
大和町地震防災マップ

地域の危険度マップ (宮城県沖地震(連動)の場合の想定木造建物被害分布図)

- この「地域の危険度マップ」は、揺れやすさマップ(宮城県沖地震(連動))において示された強さ(震度)の揺れとなった場合に、地盤の液状化の影響を含めてどの程度の建物被害(全半壊相当)が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものです。
- 地震の発生仕方によっては、被害の状況がこれよりも大きくなったり、小さくなったりすることがあります。
- 想定した宮城県沖地震(単独型)は、1793年に宮城県沖の広い範囲で発生したと考えられ、次の宮城県沖地震でも起きる可能性があると考えられています。マグニチュード8を想定しています。



- 凡 例
- 役場
 - 消防署
 - 病院
 - 警察署
 - 派出所・駐在所
 - 指定避難所
 - 鉄道(新幹線)
 - 高速道路
 - 国道
 - 水域



地域の危険度マップでの被害は、建物が全壊及び半壊となる比率で表現しています。

このマップは、宮城県第三次地震被害想定調査の成果を再構成し、町内の建築物耐震改修を促進するために作成したものです。マップの基図は、国土地理院発行25,000分の1地形図を使用しています。